

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2008
平成20年

8.15

広報は月2回発行へ

目次

はじめまして 広報サポーターです!	2
がんばる市民「体育指導委員」	3
田原東部校区	4
健康教育「福江小学校」	5
たはらしティニュース 市長表敬訪問	6
田原市民活動支援センターのページ	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

さあ 夏の思い出
についておいで!

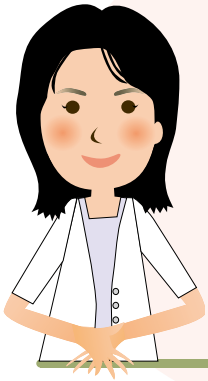


はじめまして！**広報サポーター**です。

田原 原市が募集した「**広報サポーター**」に、私たち5名が選ばれました。これから市民記者として頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

身近な話題や、ためになる情報など、随時市民の皆さんにお届けしていきたいと思ひます。私たちの記事が、広報たはらに掲載されたら、ぜひご覧ください。皆さんの地域にも取材に伺うかもしれませんので、ご協力をお願いいたします。

comment



3つの町が合併して市が広くなりました。だからこそ、あまり知られていない、がんばっている人や素敵なことがらを、市民の立場で紹介できればと思います。

柳原由美

(越戸町)

comment



田原に生まれ、田原に育った私。田原が大好きです。人々も温かく、とても良い「まち」です。そんな田原の良いところをたくさん紹介していきたいです。

高橋昌子

(豊島町)

comment



自然豊かな田原に移り住んで、生きる喜びを発見することができました。新鮮な目でこの地域の魅力を伝えることによって、田原に恩返しができるのが幸いです。

山内リリィ

(ペンネーム)

(江比間町)

comment

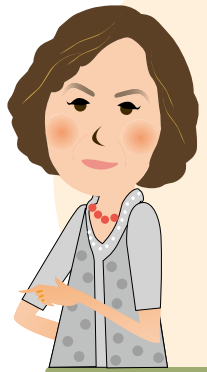


今年から田原に住んでいます。地元の岐阜県と違って新鮮です。地域の取り組みや文化を取材して、自分自身も田原市についてもっと良く知りたいです。

大坪 末

(田原町)

comment



市民が広報紙づくりに参画する取り組みはおもしろいと感じました。自分自身もグループ紙を発行していますので、自己研さんでもできればと思ひます。

中村都祁子

(赤羽根町)

広報サポーターに関するお問い合わせは、お気軽にどうぞ。

●広報秘書課 ☎22局0138 ☎23局1691
 ✉ koho@city.tahara.aichi.jp



スポーツは体指にお任せ！

私たち体育指導委員は、通称「体指」と呼ばれています。各校区から推薦された41名で、市のスポーツ振興のために活動しています。主に「ニュースポーツの普及・ウォーキング大会の企画運営・出前講座の講師など」を行っています。市民の皆さんが気軽にスポーツに参加できる「場」を提供できるように、今後とも頑張っていきます。体を動かしたいなと思っている皆さん、私たち体指と一緒に気持ちのいい汗をかきましょう。



▲平成20年度の体育指導委員メンバーです

ウォーキング大会



体指の活動の中に、市が主催する春と冬のウォーキング大会の運営があります。コース設定からコース途中のゲームまで、「自分のまちの再発見」を合言葉に私たちが頭を悩ませながら企画しています。

参加者からの「歩いてみると新たな発見がたくさんあるね」といったお褒めの言葉に心躍らせ、お叱りの言葉に反省しつつ、いろいろな地区での開催を心がけています。

今年も12月に「冬のウォーキング」を予定しています。みんなで歩きながら田原市の再発見に出かけませんか。

* 出前講座メニュー

menu

- ① **キンボール**
4人1組、3チームで、直径1メートルの大きなボールを落とさないようにするニュースポーツ
- ② **ドッチビー**
ウレタンのフリスビーを使ったドッジボール形式のニュースポーツ
- ③ **タスポニー**
スポンジボールを使った、手で打ち合うテニス形式のニュースポーツ

出前講座



体指は「だれでも・どこでも・いつでも・いつまでも」「気軽に・楽しく・安全に」実践できるニュースポーツの普及に力を入れています。「一度やってみたいな」とにかく体を動かしてみたいな」という方に耳寄りなお知らせです。子ども会やPTA、老人会、職場でのレクリエーションなどに「出前講座」を活用してみたいかごでしょうか。お気軽に生涯学習課にご連絡ください。私たち体指が優しく指導します。

●生涯学習課 ☎23局3572 FAX 22局3811
✉syogaku@city.tahara.aichi.jp



▲田原東部市民館 (☎22局5027)
校区民の憩いと交流の市民館



▲お神楽 (谷熊町)



▲納涼夏祭り (盆踊り)



▲大念仏踊り (豊島町)

田原東部

● 校区自己紹介①

基礎データ

- 【人口】 3,915人 (H20.6.30現在)
- 【世帯】 1,156世帯 (H20.6.30現在)
- 【面積】 約669.0ha
- 【公共施設】 田原東部小学校・田原東部保育園
- 【主な産業】 農業・畜産業
- 【その他】 やぐま台駅・豊島駅 (豊橋鉄道渥美線)



【校区の特色】

我が田原東部校区は、豊橋市に隣接する市の東に位置している。2つの駅があるため、田原市街や豊橋市街への交通の利便性があり、さらに、名古屋～神戸、浜松～東京へのアクセスも比較的良好。

河川、森林、田畑などの自然環境に恵まれてはいるが、維持管理に難がある。有名ではないが、地域には神社・寺など伝統的な文化財がある。しかし、観光対象とするほどには整備されていない。

一番の特色は、素朴で開放的な意識が校区民にあることである。

【多彩なまつり】

としま だいねんぶつ
豊島町の 大念仏踊り

江戸元禄時代に隆盛した大念仏

踊りの流れを受けており、一般的な盆踊りとは異なり、盆帰りした霊に対し「念仏を以って踊り、精霊を慰めること」を趣旨としている。

歌詞・踊り・振りは簡易だが、幽雅な趣を有している。後継者がなく一時休止状態となったが、平成16年から活動を再開し、町内児童や小学校の学芸会にも大念仏踊りの伝承を進めている。

かぐら 谷熊町のお神楽

明治初期の二川雲谷神楽との交流に刺激され、若者有志が雲谷神楽舞を修得し、岩崎神社の大祭に悪魔祓いの舞として奉納したことが始まりといわれる。大正4年に本殿造営遷宮式に青年衆が女装して祝賀会を盛り上げた時から、通称女神楽と呼ばれている。

納涼夏まつり (盆踊り)

「日本はもはや戦後ではない」といわれた昭和33年ごろから、娯楽と男女の出会いの場(多くのカップルが誕生)として始めた盆踊りも、すでに半世紀が過ぎている。

【校区の新しい顔】

東部第二最終処分場

市民生活から排出される家庭ゴミの、最後の保管場所(処分場)が立地している。田原市における「21世紀の新しい塚」といえよう。

「東部里山公園」「ビオ・とうぶ」

「東部学習自然林」

恵まれた自然を生かす取り組みとして、上記施設の整備を推進している。

(文:田原東部校区)



学校は、今...

Pick up

福江小学校

http://www.city.tahara.aichi.jp/school/fukue-e/

田原市では、子どもたちが元気に育つことを願い、基本的な生活習慣を身につけるための教育を行っています。

今回は、「生涯にわたって、心身の健康を追い求める福江の子」をテーマに取り組んでいる福江小学校の健康教育についてご紹介します。

SCHOOL REPORT ①

健康教育への取り組み



進んで自分の思いを表現する子をめざして

友達とのかかわりを広げ、社会性を育てることで、健康な心が育まれます。学校では、「おはようタイム」「さよならタイム」などで、スピーチを行っています。テーマを決めて、自分の思いをみんなに発表します。活動を続けるなかで、発表する子の声が大きくなり、聞く子の姿勢も良くなってきました。また、友達どうし認め合う雰囲気が出てきました。



進んで健康づくりをする子をめざして

「8020運動」は、子どものころからの習慣づくりが大切です。給食終了後に全校児童が歯みがきをします。授業で歯みがき指導を取り入れるだけでなく、低学年では家庭での指導もお願いしています。親子学年集会では、カラーテスターを使い親子で歯のみがき方を練習しました。3年生では虫歯菌調べを行い、歯みがきの大切さを親子で学習しました。



子どもたちの健康のためには朝食が大切です。保護者の皆さんの協力を得て、簡単で、栄養バランスの良い朝食を作ろうと、「わが家の朝食レシピ」を募集しました。各家庭から寄せられたアイデアに富んだ多くのレシピを冊子にまとめ、各家庭に配布しました。

高学年では、家庭科の授業で実際に調理したところ、家族に朝食を作る子どもも出てきました。

●指導課 ☎23局3679



進んで体を動かす子をめざして

月に1回縦割り班遊びを行っています。1～6年生を14班に分け、6年生が計画を立てて運動場で遊んでいます。低学年は高学年のお兄さんやお姉さんたちと遊ぶことを楽しみにしています。放課になると異学年で元気に遊ぶ子どもたちで運動場はいつもいっぱいです。

全国、そして世界の舞台へ
頑張れ！ 田原っこ

7月

7/7 (月) 愛知県小学生ソフトテニス選手権大会で優勝し**全日本小学生ソフトテニス選手権大会**への出場を決めた、童浦スポーツ少年団に所属する童浦小学校6年の鶴崎那美さん・加藤愛望さんペアが、鈴木克幸田原市長を表敬訪問し、健闘を誓いました。



▲市長と教育長からの激励にガッツポーズで答える加藤さん(右)と鶴崎さん(左)。



▲市長から「全力を出して」と激励された小久保さん(中)。



▲「優勝を目指します」と意気込みを語る川口くん(左)。

7/7 (月) **全国高校総体(インターハイ)**の陸上競技、男子110メートルハードルに出場する成章高校2年の小久保翔太さんが、「入賞を目指します」と抱負を語りました。

7/8 (火) **全日本卓球選手権大会**へ出場を決めた、ファンタジスタS.C.に所属する中山小学校3年の川口育寛くんは「気持ちで負けないように」と激励されました。



7/25 (金) 田原市在住のプロサーファー、鈴木勝大さん・杉原康幸さんと、アマチュアサーファーの増山裕亮さんが、**サーフィン世界大会**への出場を前に表敬訪問しました。世界大会への出場は昨年引き続き2回目となる3選手。初戦となった7月29日(火)には、ともに一次予選を突破するという活躍を見せ、見事に地元の期待にこたえました。

◀市長をはさんで左から増山選手、鈴木選手、杉原選手。

田原市民活動支援センターのページ

田原市民活動支援センターは、昨年7月にオープン!田原市の市民活動を支える場です。
センターは田原文化会館フリースペースの一角にあり、具体的に次のような活動を行っています。

1. 市民活動に関するご相談にスタッフが応じます ⇒ 毎週金～日曜日 午後2～7時オープン
2. アドバイザーをお呼びして、個別のテーマ相談にのります ⇒ 全10回予定、第1回は終了
3. ゲストを迎えて市民活動に関する講座を開きます ⇒ 全4回予定、第1回は終了
4. 情報を知らせたり得たりするためのネットワーク「どすごいネット」
(東三河5市)の利用サポートを行い、広く宣伝活動を助けます
5. 田原市内の市民活動団体の宣伝と交流の場「しみんのひろば」
(H21.3.1開催予定)開催を支援します

第1回 市民活動相談会

<テーマ/子育て支援>

アドバイザー:神谷典江さん
(とよかわボランティア・市民活動センター)
7/18(金) 午後2～5時、
田原市民活動支援センターにて



豊川市の神谷典江さんを迎え、個別相談会を行いました。気楽にいろいろなことを聞くことが出来るので、効率の良いアドバイスももらえました。スタッフも協力、参加しました。

第1回 市民活動講座

『自立』を考える道づくり～長野県栄村の実践から～

講師:高橋彦芳さん(栄村前村長)

6/26(木) 午後7～8時30分、
田原文化ホールにて

村の自治を村民が力を
合わせて行っている
栄村。
前村長さんに
お話を聞きました。



<アンケートの声から>

- 村民自ら実践することの大切さ、その実践と行政の関わり方が参考になった。
- やろうと思えば出来る、出来たという実例がある、ということが分かりました。
- 実践者の話には伝わってくるものがある。住みよい田原にするよう、人と人との心を結ぶこと(結いの心)をしていきたいと思った。

今月から始まったこのページは、田原市民みんなの市民活動情報発信の場です。

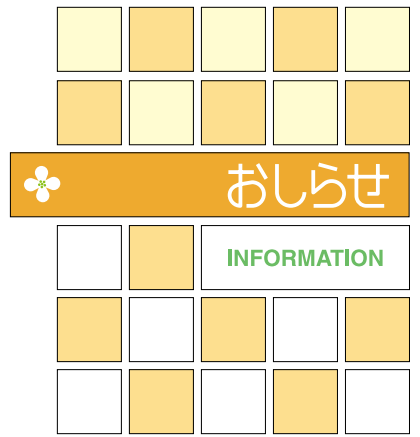
あなたの身近な、でも誰かに伝えたいニュースから、絶対来てほしい、
参加してほしいイベントのお知らせまで、広く市民活動に関わる記事を紹介していきます。

情報をお寄せください。原稿の締切は毎月10日で、翌月分に掲載します。

*紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先:総務課市民協働係 FAX0531-23-0180 Email:somu@city.tahara.aichi.jp

紙面作成・編集:田原市民活動支援センター(市役所総務課/NPOたはら広場)



募集

WANTED

田原市臨時職員 (児童クラブ指導員)

留守家庭などの児童を預かる「児童クラブ」で、児童の安全を守り、遊びや自主活動などを通じて児童を育成・指導する指導員を募集します。

▼募集人員 1名 ▼対象 保育士資格もしくは幼稚園・小学校教諭免許をお持ちの方 ▼勤務場所 衣笠児童クラブ ▼採用期間 平成20年9月1日(月)～ ▼勤務時間 午前8時30分～午後1時30分、午前9時～午後6時、午後1時～6時(交代勤務) ▼勤務形態 週3～4

日の勤務(土・日曜日、祝日、年末年始、お盆はお休み)

▼賃金 時給940円 ▼選考方法

面接(期日など詳細は後日通知)

▼申し込み 8月27日(水)までに

児童課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出(土・日曜日を除く)

午前8時30分～午後5時15分)

▼児童課

☎ 23局 3513 FAX 23局 3545



第一回いつきてもホッ！ バスで巡る渥美半島編、 「ほの国検定」を受けてみませんか

渥美半島方面をバスで巡り、50問を4者択一方式で解答。合格者には認定証を贈呈します。

▼対象 小学5年生～一般 ▼日時

11月15日(土) 午前9時～午後4時(午前8時50分集合予定) ▼場

所 豊橋商工会議所(試験会場)

▼定員 160名(申し込み者多数

の場合は抽選) ▼検定料 2000

円(税込み) ※試験代、研修バス代、

昼食代、旅行保険代を含みます。振

り込まれた検定料は返却できません。

▼申し込み 9月1日(月)から30日(火)までに往復ハガキにて(住所・氏名・年齢・生年月日・性別・電話番号・携帯電話番号を明記) ▼そ

の他 参考文献「まるごと東三河」

(愛知県東三河広域観光協議会発行)

の当日持ち込み可。

▼愛知県東三河広域観光協議会事務局

(〒440-0075 豊橋市花田町

字石塚4-1 豊橋商工会議所8階

豊橋観光コンベンション協会内)

☎ (0532) 54局 1484

FAX (0532) 54局 2220

HP <http://www.honokuni.or.jp>

豊橋田原食育体験講座 受講者

▼対象 田原市および豊橋市在住の方(②以外は子ども同伴不可)

▼内容 日時・場所・講師 表のと

おり ▼定員 各20名(申し込み者

多数の場合は抽選) ▼受講料 ①

② 2500円 ③ 1500円(各食

事代含む) ▼申し込み ①は9月

16日(火)、②は11月14日(金)、③

は平成21年2月27日(金)までに電

話またはFAX・Eメールにて(F

AX・Eメールの場合は住所・氏名・電話番号を明記)

▼豊橋田原広域農業推進会議事務局

(〒440-8501 住所不要)

☎ (0532) 51局 2471

FAX (0532) 56局 5130

✉ nosei@city.toyohashi.jp

HP <http://www.city.toyohashi.jp/nosei/>

豊橋田原食育体験講座

内容	日時	場所	講師
① 「目からウロコの料理術」 *作ったお弁当の試食	9月28日(日) 10:00～13:00	子ども未来館「ここにこ」 キッチン工房(豊橋市)	伊藤新作氏 (山猫軒のオーナーシェフ)
② 「いのちの食べ方体験学習」 *みんなで作り上げた究極のカレーを試食	11月29日(土) 10:00～13:00	渥美どろんこ村 (江比間町)	小笠原弘氏ほか (渥美どろんこ村代表)
③ 「食生活で健康づくり」 *地産地消ランチ	平成21年 3月12日(木) 12:00～15:00	日本料理「宮本」 (豊橋市)	芳本信子教授 (名古屋文理大学短期大学部)

生活

LIFE

仁皇川河川改良工事一部完了に伴う車両通行止めの解除

豊島町の惣作橋完成に伴う車両通行止めが解除になりました。また、車両通行止め解除に伴い、ぐるりんバスの表浜線「豊島駅」停留所を元の位置に移動しました。長い間ご迷惑をおかけしました。

▼土木課

☎23局3521 FAX23局0180

▼総務課

☎23局3504 FAX23局0180



長寿(後期高齢者)医療保険料の軽減割合をさらに拡大します

被保険者の方には、平成20年度分保険料についての決定通知を送付しましたが、次の方には、減額後保険料の変更通知を8月下旬に送付しますので、ご確認ください。

●平成20年度の均等割額が7割軽減されている方(一律8.5割軽減に変更)

●「賦課のもととなる所得金額」が58万円以下の方(所得割額が一律5割軽減に変更)

▼保険年金課

☎23局3514 FAX23局0180

ケーブルテレビの加入補助を終了します

田原市では、ケーブルテレビを地域情報化推進のための有効な手段の一つと位置付けています。現在、ケーブルテレビの初期費用(工事調整費用・加入料など)の2分の1(限度額2万円/適用は1回)を補助していますが、この補助を平成21年1月末までの加入申し込み(今年度内工事完了)をもって終了します。ケーブルテレビへの加入をお考えの方

は、お早めにお申し込みください。なお、補助金の申請はケーブルテレビ事業者(ティーズ)が田原市へ行いますので、加入申込者本人の手続きは不要です。詳しくはお問い合わせください。

ケーブルテレビってなあに？

〜ケーブルテレビの特徴〜

*アンテナではなくケーブル(線)を使ってテレビを視聴します。

*初期費用のほか、毎月の視聴料が必要です。

*田原市などの身近な地域情報や

市政情報を放送しています。

*地上デジタル放送や多チャンネル放送に対応できます。

*音声で地震を知

らせる緊急地震速報機器に対応できます。

ます。



▼情報システム課(情報センター)

☎22局7200 FAX23局2808

▼豊橋ケーブルネットワーク(株)

ティーズ(田原事務所)

☎24局0466

子どもの人権110番 全国一斉強化月間

いじめ・虐待など、子どもの人権にかかわる悩みごとや心配ごとなどはありませんか。

相談内容の秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

▼期間 9月8日(月)～14日(日)

▼相談時間 月～金曜日(午前8時30分～午後7時) 土・日曜日(午前10時～午後5時)

●相談専用電話(フリーダイヤル)

☎012010071110

▼名古屋法務局人権擁護部

☎(052)952局8111

寄付

DONATION

次の方々からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼6月9日、中内田廣志様(田原町)から、田原福祉専門学校の福祉教育のため図書417冊。

▼7月30日、「願照寺同朋の会」様(波瀬町)から、田原市の教育文化振興のため絵本「くじらがくれたおくりもの」200冊。

広がる未来へ

＊たはらエコ・ガーデンシティ構想

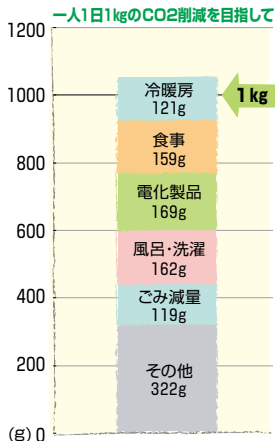
28

●温暖化防止に向けて②

田原市の温室効果ガスは、現状では1990年度に比べて19・3%増えています。新エネルギーを導入したり、省エネルギーに積極的に取り組んだりすることで、2010年度までに1990年度と比べて10%減らすことが目標です。ご家庭や事業所での毎日の省エネから始めてみましょう！

●家庭でできる温暖化対策

一人1日1kgのCO₂（二酸化炭素）を減らすことで、「たはらエコ・ガーデンシティ推進計画」における家庭分野の省エネルギー削減目標が達成できます。



マイナス159g
◎食の省エネを実施しましょう！

- ・買った物はマイバッグを使いましょう
- ・残さず食べましょう
- ・旬のもの、地元の食材を食べましょう

マイナス169g
◎電化製品の使い方を工夫しましょう！

- ・電球型蛍光灯ランプに取り替えましょう
- ・使用しない電化製品のコンセントは抜きましょう

マイナス162g
◎水を節約しましょう！

- ・シャワーの使用量を減らしましょう
- ・風呂の残り湯を洗濯などに使いましょ
- ・家族が続けてお風呂に入り、追い炊きを減らしましょう

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0488

今月のエコライフ標語

エコライフ

少しの努力で 未来は変わる



省資源とリサイクルはじいじ

「プラスチック容器類」の分別って分かりにくいですね。今回は、プラスチック容器で出せるものと出せないものを紹介します。

プラスチック容器類は「プラスチックマーク」が付いているらしいぞ！

●プラスチック容器類で出せるもの

物を入れて包むためにあるものや、中身を食べたり使ったりしたあとと不要になる容器などが対象となります。

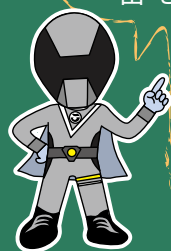
- ＊フチフチの緩衝材
- ＊果物などを包んだネット
- ＊果物・卵・総菜のパック
- ＊肉・魚などの色柄付きトレイ
- ＊カップめんのカップ
- ＊プリン・ゼリーなどの容器
- ＊シャンプーや洗剤の容器（ポンプ部分）
- ＊ペットボトルのふた
- ＊錠剤のシート
- ＊その他

●プラスチック容器類で出せないもの

そのものが商品として売られているものや、保管・運搬するために必要なケース、商品の一部であるものなどが対象となります。

- ＊バケツ・ボウル
- ＊植木鉢
- ＊密閉容器
- ＊プラスチックのおもちゃ
- ＊CD・MDなどのケース
- ＊薬や薬用酒の計量カップ
- ＊洗剤等の計量スプーン
- ＊その他

※プラスチック容器類で出せないものは、もやせるごみで出しましょう。ただし30cm以上のものは、もやせないごみです。

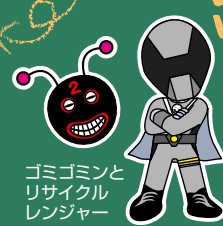


マークが付いていても、お菓子の袋、野菜の袋、ラップ類、汚れの落ちないものは、もやせるごみで出してください。

▼清掃管理課

☎23局3538

FAX23局0488



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

交流通信



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶企画課 ☎23局3507

ラオス・サイタニー郡との交流

2005年愛・地球博以降、田原市は、フレンドシップ相手国であったラオスのサイタニー郡と「ラオスの人づくり」を目的とした交流を続けています。

●農業研修事業

6月5日(木)、ラオス・サイタニー郡から、ブンガン・ケオサイヤフォンさん(通称プーさん)とコンカビザイ・カンペットさん(通称ペットさん)が田原市にやってきました。サイタニー郡では農林事務所に勤務しているお二人。今回の来日の目的は、田原市の農業、特にバラの栽培方法を学ぶことです。現在、大草町の農家などで、農業研修を受けています。

この「農業研修事業」は、JICA(国際協力機構)の草の根技術協力事業として田原市が委託をうけ、平成19年から平成21年までの3年間にわたり実施しているものです。



「ラオス・サイタニー郡では現在、昨年の研修生たちが、バラ栽培を開始するための準備を着々と進めています。私たちも早く本国での栽培に携わりたいですね。そのために、毎日一生懸命研修を受けています。」と話すプーさん(左)とペットさん(右)。田原市には10月まで滞在し、帰国後には早速バラ栽培に携わっていくとのこと。ラオスにたくさんのバラを咲かせられるよう、頑張ってくださいね!

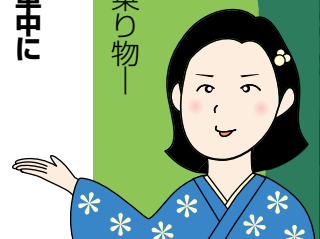
忍びよる巨大地震

のりりん

防災まめ知識

39

地震だ! そのときどうする? ⑦屋外—乗り物—



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。突然地震が発生したとき身を守るためにはどうすればよいのか、シリーズで紹介していきます。このシリーズは今回が最終回です。

●乗り物に乗っているとき

そのとき
どうする!?

電車(在来線)乗車中に
地震が発生したら…

電車は、揺れを感じすると自動的に停車する場合があります。立っているときは、将棋倒しや荷物棚からの落下物に注意し、つり革や手すりにしっかりつかまりましょう。座席に座っているときは、カバンなどで頭を保護し、体を前かがみにして足をふんばります。電車が止まっても、勝手に非常コックを開けて車外に出たり、窓から飛び降りたりしないでください。係員の指示に従い、落ち着いて行動しましょう。

そのとき
どうする!?

新幹線乗車中に
地震が発生したら…

走行中の新幹線は、地震を感じると急ブレーキがかかるため、大きな衝撃を受けることがあります。すぐに前かがみになって、落下物から頭を守りましょう。もし立っていたら、座席の取っ手や手すりをしっかりとつかむか、しやがみこんで座席などにしがみついでください。

地震からの身の守り方を、7回にわたって紹介してきましたが、さまざまな場面がありました。どのようなときでも、まずは「自分の命を守ることを第一に。そして、「行動はあわてず、落ち着いて」を心がけ、いつ発生するかわからない地震に備えておきましょう。



▼防災対策室 ☎23局3548

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
89



文化振興課 ☎23局3635
FAX 22局3811

児童の手に成る昭和渥美風土記

前回に続き、またも古い本を手にとってみました。その本は『半島渥美』という名で、昭和16年に渥美郡国民教育報国会から発刊されました。当時の国民学校の児童（現在の小1〜中2までの年齢）が渥美半島のことをまとめた内容となっています。

この年の12月、日本軍は真珠湾の攻撃を行い、日本はいまわしい戦争の時代へと突入していきました。『半島渥美』の文章は、まだ児童にまで軍事政策が浸透していなかったのか、

児童が執筆したためなのか、あまり戦争色は強くありません。時折見える「皇国」という言葉や、「丁度兵隊検査がすんで甲種に合格したようなものです。」という喜びの表現が、やがてくる戦争の時代を予感させます。大人が書いた序文には「私どもの半島渥美を愛することは、やがて祖国日本を愛する心に通ずる」と記され、また、「愛国心を培ひ、皇国民たるの魂の錬成を祈念して、ここには郷土研究を企画し・・・」という表現には戦争の臭いがします。



▲児童が描いた挿絵



▲半島渥美

私がこの本を紹介したいのは、「いはば『児童の手に成る昭和渥美風土記』である」という文に感動したからです。当時の児童たちが、ふるさととの文化や歴史、産業について、彼らの目線で感じたことを書き綴ることはとてもすばらしいことです。そればかりでなく、当時、どのような偉人が顕彰されていたのか、どのような産業が盛んであったのかなど、今では渥美半島の普通の姿を伝える貴重な資料となっているからです。

さて、次にこの本に紹介されている、各地の事柄をご紹介します。当時は豊橋の一部も渥美郡でしたが、田原市関係分のみ掲載します。
《杉山村（相川町）》 神の釜、長仙寺
《神戸村》 神戸の寝祭、煙草栽培、おくり神、漁と信心
《田原町》 東部産業組合、セメント工場、金海銀山、八人塚、長興寺、大

場民平翁の碑、大洲崎、姫島、田原案内、矢崎（吉胡）貝塚、池の原公園、報民倉、霊巖寺、田原の鮎、田原の市
《野田村》 渥美に誇る芦ヶ池、俳句
《赤羽根町》 一色の磯、更生の我郷、村の網、竹柏の樹、地曳網、常春の里、大山、防波堤

《伊良湖町》 鯛釣、夕の田の井戸、糟谷磯丸、伊良湖神社
《福江町》 こうなご漁、松露、田戸神社、中山義民伝、水難救護所、貝塚、俳人杜国、福江港、港、泉福寺、絹神様のお祭、青葉の金刀比羅さん

《泉村》 鸚鵡石、立切網、江比間海岸、水産実験所、海苔取り
・・・つづく
(増山)

▼文化振興課

☎23局3635 FAX 22局3811

今月の「表紙」

▼皆さんの夏の思い出にはどんなことがありましたか？クワガタ採りや花火、旅行や人との出会いなどなど。思い出って、しばらくしてから良さが分かる、後からついてくるようなものかもしれませんね。今年の夏、皆さんにとって楽しい思い出がたくさん出来ますように。(O)

【表紙の写真】サンテパルクたはら「ヒマワリの迷路」